

長尾神社境内と本殿（中央奥）＝奈良市阪原町で

やまとの神さま

神拝と角力 秋のお渡り

長尾神社（奈良市）



長尾神社は、大柳生、柳生、邑地とともに「神戸四箇郷」と称され旧春日大社領だった奈良市阪原町に鎮座します。祭神は庶民安楽と五穀豊穣の神である燻速日命です。

境内奥の小高い所に祭られている本殿は、春日造（正面の柱間が一つで、切り妻屋根で棟と直角な面に入り口がある様式）の檜皮葺。安土桃山時代に春日大社本殿を移したもので重文指定されています。本殿周囲には末社11社と、元は近くの南明寺境内に鎮座していた御霊神社が鎮まります。

境内には奈良市指定文化財の能舞台があり、所蔵の白色尉など能面四面はいずれも室町時代の作で県指定文化財です。

10月第2日曜に行われる秋の例大祭では、能舞台と南明寺の御旅所で、「神拝」と「角力」と呼ばれる神事が奉納されます。集落6地区の大人約20人から笛、太鼓などを担当する神拝役7人や角力の力士役2人が選ばれます。大人は子どもと共に、てんぐを先頭に、弓、毛やり、神輿、笛と太鼓の鳴り物などで行列を作り、長尾神社から南明寺までお渡りします。

2026年3月、県内の山間農村の伝統的祭礼に神事芸能の継承を示す点などが評価され、「阪原の神事芸能」として、県指定無形民俗文化財に指定されました。

（奈良まほろばソムリエの会理事　本井良明）

（住所）奈良市阪原町1625
（祭神）燻速日命
（交通）近鉄奈良駅前から柳生または邑地中村行きバス　阪原中村下車徒歩約10分
（拝観）境内自由
（駐車場）なし
（電話）0742・93・0193